

船舶事故調査報告書

令和6年3月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	旅客負傷
発生日時	令和5年1月27日 09時10分ごろ
発生場所	北海道 <small>おしどまり</small> 鴛泊町鴛泊港 鴛泊灯台から真方位131°780m付近 (概位 北緯45°14.5′ 東経141°14.3′)
事故の概要	旅客フェリーサイプリア宗谷は、航行中、船体が動揺した際、歩行中の旅客が転倒して負傷した。
事故調査の経過	令和5年1月27日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客フェリー サイプリア宗谷、3,555トン 140633、ハートランドフェリー株式会社（A社）
乗組員等に関する情報	船長、三級（航海） 旅客A
負傷者	軽傷 1人（旅客A）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約2m
事故の経過	<p>本船は、船長ほか13人が乗り組み、旅客71人を乗せ、車両9台を積載し、鴛泊港のフェリーターミナルを離岸し、フィンスタビライザーを使用して約13ノットの対地速力で鴛泊港内を北東進中、高齢の旅客Aが、船首部に位置する2等客室が揺れるので、別の客室に移動しようと杖2本を使用して歩行を開始したところ、風波により船体が動揺して転び、そばにあった木製のごみ箱に頭部を打ち、頭部裂傷を負った。</p> <p>旅客Aは、船体動揺の影響が少ない1等客室まで担架で運ばれ、乗り合わせていた看護師の手当を受け、北海道稚内市稚内港に入港後、救急車で同市内の病院に搬送され、縫合の処置を受けた。</p> <p>船長は、航行中に船体動揺が予想される場合、ふだんから船内放送で旅客に対する注意喚起を行っており、本事故当時も離岸前に「航海中は船体が動揺しますので移動の際には十分ご注意ください」との船内放送を2回行っていた。</p>
分析	本船が、鴛泊港内を北東進中、風波により船体が動揺したことから、旅客Aが、歩行中にバランスを失って転び、そばにあった木製のごみ箱に頭部を打ったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、鴛泊港内を北東進中、風波により船体が動揺したため、旅客Aが、歩行中にバランスを失って転び、そばにあった木

	製のごみ箱に頭部を打ったことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	<p>A社は、本事故後、再発防止策として次の措置を講じた。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 巡視を強化するなどにより、高齢の旅客に対して十分配慮する。・ 船体動揺が想定される場合は、出港前の船内放送を徹底する。 <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ フェリーの船長は、航行中、風波により船体が動揺する場合、旅客に対する注意喚起を適時適切に行うこと。